



「日本語の教材や図書に関する新しい情報がほしい」という海外の先生方の声をよく聞きます。このコーナーでは、最近出版された日本語教材や参考書を中心に紹介していきます。紙面の制約上、一回に多くの本を紹介できませんが、「海外の先生にとって使いやすい教材」「授業や研究の役に立つ本」、また、「知っている则便利図書・資料」などを取り上げます。

データ凡例 1 著者 2 出版社 3 刊行年月 4 ISBN 5 ページ数 6 定価(税込) 7 その他

“日常生活での会話に必要なルールが学べる教科書”  
にちじょうせいかつ かいわ ひつよう まな きょう かしよ

『なめらか日本語会話』  
にほん ご かい わ

データ

- 1 富阪容子 2 アルク (〒168 東京都杉並区永福2-54-12 / TEL:03-3323-1001 FAX:03-3327-5211) 3 1997年1月 4 4-87234-635-1 5 163 ページ 6 2,039 円

教科書会話からの脱出  
きょうかしかいわけ だつしゅつ

教科書の会話と実際の日本人の会話がちがっているために学習者が混乱させることがよくあります。実際は、初級レベルの日本語なのに何が違うために学習者にはむずかしい、教科書で習った日本語と違うと感じさせてしまうことがあります。この教科書には、教科書で習った日本語と実際の話し言葉の違いに戸惑われないようにするための会話のルールが整理されています。日本で生活しながら日本語を勉強している人はもちろん、海外で勉強してこれから日本で生活しようとする人にも役立つでしょう。

整理された会話のルール  
せいり かいわけ

教科書は三つのパートに分かれています。PART1 音の変化、PART2 会話の形式、PART3 会話の目的です。各PARTの内容は右の目次を見てください。

まず、その課で勉強することの説明(英訳付き)があり、2~3 往復の会話例、練習問題、聞き取り練習と続きます。初級終了程度の学習者でも無理なく学習できるといわれています。

きるように、漢字には必要に応じてルビがふられ、また、会話例や練習問題で使われている語彙も初級終了程度におさえてありますので、会話のルールだけに専念して勉強できます。各課は2時間ぐらいで勉強できるようになっています。

楽しい聞き取り練習  
たの きき と れんしゅう

聞き取り練習の会話はとても工夫されています。必要に応じて効果音が入っていますし、会話を聞き終わったときに思わず笑ってしまうような楽しい会話にしています。学習目的をはっきりさせるために多少話し方に不自然さはありますが、あまり気にならないでしょう。付属のテープには、会話、その内容についての質問が録音されています。

使い方いろいろ  
つか かい

PART1、PART2 は、もし手に入るならばビデオ(ビデオ教材だけでなく、日本のテレビドラマや映画など)やまんがをいっしょに使うといいでしょう。音がどのように変化しているか、どんな助詞が話し言葉で省略されるかなどのタスクを与えて練習することができます。PART3 では、各課の学習内容に適した場

面を与えて、ロールプレイをさせると効果的でしょう。また、各課の練習問題は、語彙・表現の復習にも使えますし、宿題にもできます。必ずしも1課から順番に進める必要がないので、副教材としての利用もいろいろ考えられるでしょう。

**助詞の省略**  
Omitting particles

「を」がよく省略されます。前後の文章の内容から意味がはっきりして、まちがえることがない場合には「が」「に」「へ」「行く」も省略されます。けれども、その他の「に」「や」「で」「と」などの助詞を省略すると意味が通じなくなります。また、文の主題としての「は」は、話し言葉ではよく省略されます。

In informal conversations, a is often omitted. When the meaning of a sentence is clear due to the phrases preceding and following a particle, and no error can be made in judging the meaning of the entire sentence, ga and ni/te/ni/ni/ni are often omitted. However, it proves difficult to understand sentences when particles like yo, ya and de (excluding the ni used in ni/ni) are omitted from a sentence. Also, we, which signifies the subject of a sentence, is often omitted in conversations.

**用例**  
Example conversations

- 母 「何(を)しんの?」  
娘 「見てわかんない? まんが(を)読んでるの」  
母 「ところで、今日の試験(は)どうだった?」  
娘 「まあまあね。」
- 女A 「ちょっとテープレコーダー(を)貸して。音楽(を)録音するの」  
男B 「ああ、いいよ。終わったら、ここに置いて。」
- 女客 「運転手さん、次の角(を)右にまがってください?」

**目次**  
CONTENTS

前書き Foreword  
構成と使い方 How to use this book  
学習者みなさんへ To the students

**PART 1 音の変化**  
Sound Change

- でる/とく/とく...
- ちゃ/じゃ/きゃ...
- たっ/だっ...
- っ/て/...
- ん...
- 変化した言葉 Words which change...

**PART 2 会話の形式**  
Conversations

- 助詞の省略 Omitting particles...
- 短縮句 Contracted phrases...
- 決まり文句 Set expressions...
- くり返し Repetition...
- あいまい表現 Ambiguous phrases...
- 語順の変化 Changes in word order...

**PART 3 会話の目的**  
Speech Functions

- 会話を進める Carrying on a conversation...
- 話を切り出す Branching different subjects...
- 答える Responses...
- 反応を見ながら話す Speaking while watching the listener's reaction...
- あいづち Words of encouragement...
- 確かめる Confirmation...
- 主張を出せる Making assertions...
- お礼を言う/あやまる Expressing appreciation/Apoloing...
- 文句を言う/答る Complaints/Reactions...
- 申し出るを断る Turning down an offer...
- 問いかける Asking questions...

会話表現索引 Index  
解答 Answers

『新日本語の基礎 復習ビデオ』

しん にほんご きそ ぶくしゅう

データ

1 海外技術者研修協会 2 スリーエーネットネットワーク (〒101 東京都千代田区猿楽町2-6-3 松栄ビル / TEL:03-3292-5751 FAX:03-3292-5754) 3 1996年12月 6 復習ビデオI、会話ビデオI、II 10,500円 復習ビデオII 12,720円

ドラマで復習する文型や語彙

ぶくしゅう ぶんげい ごい

この教材は、「新日本語の基礎I、II」(各25課)を九つに分け、それぞれの範囲内で学習した文型や語彙、表現を使って作られたドラマをビデオ化したものです。一つ一つのドラマは10分程度のもので、内容は、次のような構成になっています。

- 「いっしょに飲みませんか」(1~7課)
「あの映画が見たいです」(8~13課)
「気をつけてください」(14~19課)
「傘がないと困るでしょう」(20~25課)
「宝くじ」(26~30課)
「今日から社会人」(31~35課)
「冬美がんばる」(36~40課)
「地震」(41~45課)
「秘密の指輪」(45~50課)

前半の ~ は初級レベルで、ある会社に勤める4人の20代の男女の日常生活を描いています。後半の ~ は初中級レベルで、祖父、両親、20代の子供2人の、ある5人家族にふりかかるいろいろな事件をコミカルに描いています。使われている文型や語彙が限られているため、特に前半の4話は、会話の運び方や話すスピード、人間関係による言葉の使い分けなどに不自然さやぎこちなさが見られます。しかし、文型積み上げ方式で日本語を学習している初級レベルの学習者が、自分たちが今までに勉強してきた文型や語彙、表現をどのように使った

ら、現実の場面でコミュニケーションでやるのかを確かめるのに役に立ちます。

ドラマのいろいろな使い方

ビデオ教材は、少々わからない言葉や表現があっても、映像を追うことによって内容を推測し、理解することができるという利点をもっています。ですから、教師が工夫すれば、学習者のレベルに合わせていろいろな使い方を考えることが

できます。たとえば、ビデオを見た後で、ドラマの内容を簡単な日本語で説明させたり、途中でビデオを止めて話の続きを想像させたり、音を消して会話文を作らせたり、あるいは同じような場面でのドラマを学習者自身に作らせ、クラスで発表させたりすることもできます。

ドラマから日本人の生活を学ぶ

後半の5つのドラマは、会話の進め方や言葉の使い方が自然な日本語に近く、またトピックも上に挙げたように現代の日本人の生活や考え方を知らせてヒントになりそうなものが選ばれています。ですから、初中級レベルの簡単な日本語の授業にも利用することができます。たとえば、第6話「今日から社会人」は、大学を卒業して会社に入ったばかりの新入社員がどのような研修を受け、どのように仕事をしていくかを簡単に紹介しています。このビデオをもとにして『働きすぎ』と

言われる日本人の仕事の仕方について考え、話し合うことができるでしょう。他に第5話「宝くじ」や第8話「地震」なども現代の日本人の生活を考える上でおもしろいヒントを与えてくれます。

最後に、この教材とは別に、同じ「新日本語の基礎I、II」の各課の「会話」をそのままビデオ化した「会話ビデオ」も発売されていますので、いっしょに紹介しておきます。



新入社員の研修は厳しい.....(第6話「今日から社会人」より)



地震はいつ起こるか分からない.....(第8話「地震」より)



人と人がぶつかって.....(第3話「気をつけてください」より)

pp.18 ~ 21 は、以下の日本語国際センター専任講師が図書を選び、分担して紹介文を執筆しました。

前田網紀、坪山由美子、百瀬侑子、木山登茂子、木谷直之、小坂昌子

まえだ つなき ちばやま ゆみ こ もも せ ゆう こ き やま と も こ き た に なお 昌子 こさかまさこ



“現代日本のようすについて学ぶ教科書”

『話そう考えよう 初級日本事情』

データ

1 福岡日本語センター「日本事情」プロジェクト 2 スリーエーネットワーク (〒101 東京都千代田区猿楽町2-6-3 松栄ビル / TEL:03-3292-5751 FAX:03-3292-5754) 3 1997年4月 4 4-88319 -081-1 5 72ページ 6 1,050円

この本は、現代の日本の習慣、社会的常識、日本人の考え方などについて基本的な知識を身に付けることができる本です。この本が考えている学習者は、日本で日本語を勉強する人ですが、海外で日本語を勉強する人たちも使えます。初級のレベルに合わせて字を少なくし、絵や白黒写真、統計資料で、現在の日本社会について様々な情報を示しています。漢字には全てふりがながついています。

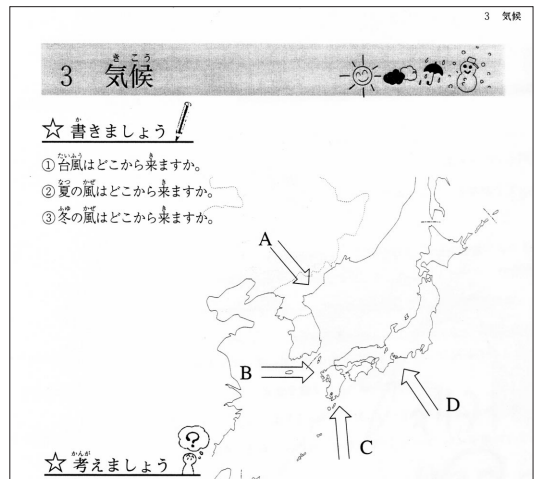
構成は、大きく三つの部分に分かれます。

す。第1部は生活編で11章 第2部は地理編5章、第3部は社会編の11章です。各章には「知っていますか」「考えましょう」「書きましょう」のうち、どれか一つのタスク(課題)があります。一部のタスクの答は巻末に出ています。このタスクの名前が示すように、この本は学習者が日本について、自分で考え、その考えを日本語で表現すること(話したり、書いたりすること)を求めています。

各章のテーマに沿ったキーワードがページの下の方にまとめられています。そして巻末にはキーワードの索引もあります。第1部から第3部へ進むにしたがって、語彙や文型が難しくなります。しかし各章の内容は独

立していますから、テーマを選んで勉強したり教えたりすることができます。

この本には教師用指導書もついています。こちらには、各章ごとに「学習目標」と「授業で準備するもの」、テーマに沿った説明が書かれていますが、漢字にふりがなはありません。



p.28

“類似表現の違いをわかりやすく教えるための参考書”

『類似表現の使い分けと指導法』

データ

1 日本語教育 誤用例研究会 2 アルク (〒168 東京都杉並区永福2-54-12 / TEL:03-3323-1001 FAX:3327-5211) 3 1997年2月 4 4-87234-653-X 5 231ページ 6 2,243円

日本語の学習の段階が少し進んだとき、学習者がよくする質問の一つに、意味や使い方がよく似ていることばの使い分けに関するものがあります。本書では、このようなことばを類似表現と呼び、類似表現を教える際に必要なことばの知識と指導上のポイントを項目ごとに簡潔にまとめています。

取りあげられている項目は、「うっかり」「つい」「思わず」「すむ」「くらす」「気持ち」「気分」「機嫌」「～ず」「～ず」に「～なくて」「～ないで」など、品詞

はさまざまですが、どれも学習者の疑問に対して明確に答えることが難しいものばかりです。各項目は、「問題点」「意味・用法」「まとめ」「指導上のポイント」から構成されています。イラストをつけてわかりやすくしているものもあります。巻末には、例文の適否の判定の根拠になったアンケート調査の方法とその結果の一部が収録されています。

本書の特徴は学習者の学習段階に合わせた例文の与え方や指導のポイントが示されている点です。具体的な教室での指導法や何をどこまで提示するかに関しては教師ひとりひとりが考えなければなりません。それらを決めるために「意味・用法」「まとめ」「指導上のポイント」は役に立ちます。また、ここで取りあげられていないことばについて指導する場合にも、意味や用法の整理のし方や指導

法について本書からヒントが得られるでしょう。



p.23

“指導を視野に入れ誤用を分類整理した辞典”

『日本語誤用例文小辞典』

データ

- 1 市川保子 2 凡人社 (〒102 東京都千代田区平河町1-3-13 菱進平河町ビル1階 / TEL:03-3263-3959 FAX:03-3263-3116)
- 3 1997年1月 4 4-89358-366-2
- 5 460ページ 6 2,854円

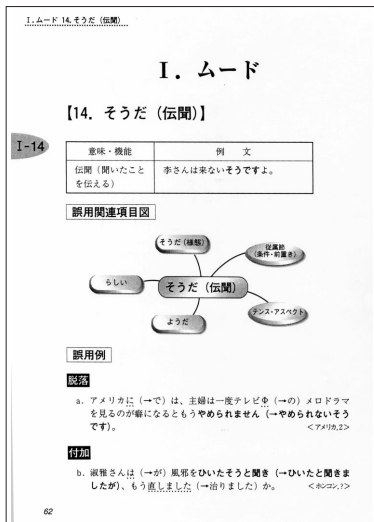
ある言語を学習するときに、誤用は避けられません。それを前提として、問題が2点あります。学習者の立場からは、ある表現が誤用かどうかということ、教師の立場からは、誤用があった場合、それをどう指導するかということです。普通の辞典では、正しい表現は書かれていますが、誤用は書かれていません。また、学習者をどう指導するかについても書かれていません。しかし、この辞典にはどちらも書かれています。

この辞典の日本語を理解するためには、

上級以上の日本語力が必要でしょう。この辞典の構成は次のようになっています。まず文法的観点から誤用を8分野に分類しています。8分野とは、ムード、テンス・アスペクト、自動詞・他動詞・ヴォイス、やりもらい、取り立て助詞、

格助詞・連体助詞・複合助詞、連用修飾・連体修飾、従属節です。これらがさらに、下位の86項目に分けられます。たとえば、ムードには「らしい」「ようだ」など20項目があります。従属節には、条件節の「たら」「ば」「と」「なら」などがあります。どれも日本語教育でよく取り上げられる問題です。

各項目は、まず意味・機能の説明と例文が提示され、次に以下の4要素が述べられています。誤用関連項目図、誤用例文、誤用の傾向、指導のポイント。は、誤用項目が関連する項目を網羅的に図示しています。は、誤用例文



で、6種類に下位分類されます。例文は約千です。これらは実際の学習者の作文からとられ、レベルは初中級です。各例文に学習者の国名と学習年数が付いています。は、誤用の傾向と原因を説明しています。は指導に役立つ点を簡潔に述べています。

“日本語でレポート・論文を書く人のためのワークブック”

『大学生と留学生のための論文ワークブック』

データ

- 1 浜田麻里、平尾得子、由井紀久子
- 2 くらしお出版 (〒112 東京都文京区小石川3-16-5 / TEL:03-5684-3389 FAX:03-5684-4762)
- 3 1997年4月
- 4 4-87424-127-1 5 187ページ
- 6 2,625円

書名からもわかるように、この本は、レポート・論文の書き方を実際に練習するための本です。

日本人大学生や日本で学ぶ留学生を対象にして作成されたものですが、学習者の日本語力や目標を考慮して教師が内容を取捨選択したり、口頭での説明を詳しくすれば、海外の大学や大学院でも使うことができます。

全体の構成は次のとおりです。

基礎編 「よく使われる文の形」「よく使われる語と表現」「引用」「句読点」「表記規則」「まとめと練習」から成り、論文を書くために必要な基本的なルールについて説明と練習があります。

論文編 論文の基本的な構成である「序論」「本論」「結び」について、その役割、書き方の説明などがあります。また、「日本は豊かか」というテーマで論文を書くという課題が出され、実際に論文の書き方が練習できるようになっています。

資料編 論文でよく使われる表現、論理の展開の方法、論文の

付属要素(表題、要旨、キーワード、目次、付記、注、参考文献、付録)の書き方について、説明と練習があります。練習問題の解答をまとめた別冊の「解答編」がついていて、独習用としても使えるようになっていますが、問題によっては解答例がないものもあるので、海外

の学習者が独習用として使うには限界があるようです。

なお、この本を終わるまで学習するためには、学習者は上級レベルの日本語力を必要としますが、教師が「基礎編」の部分を用いて工夫して教えれば、中級レベルの学習者に対象にしても使えます。

